

令和7年度

木島平小学校グランドデザイン

＜木島平小職員としての心構え＞

- ・子どものよさを見出し、多様性を認め励ます姿勢の重視
- ・教師としての人権感覚の研鑽
- ・心をひらき合い、語り合い、学び合う職員集団づくり

【保護者・地域の願い】

- よりよい人間関係づくりを進め、コミュニケーション力を高めてほしい
- 一人ひとりの子どもの心に寄り添った指導を進め、確かな学力をつけてほしい
- 安全で安心な学校生活を送れるようにしてほしい
- ふるさと木島平を心に刻んでほしい

＜木島平小学校の教育理念＞ ふるさと木島平を心に刻む教育の実践 ～この地で、この仲間と学ぶ教育～

＜木島平小学校の教育目標＞ 心と体をひらいて学ぶ子ども ～対象・友・自己との対話を通して、自己の生き方を深める～

教育理念・教育目標の具現に向けて ～「授業づくり」は「学級・学校づくり」～

重点1 仲間とともに心を磨き、豊かな人間性を携えた子どもの育成

【心をつなぎ、心を耕し、
心を整える活動の充実】

～あいさつ、清掃、読書、歌声～

- ◆あいさつで全校、地域、みんなが笑顔！
- ◆学校がきたないのはいや。縦割り清掃で学校をきれいにしよう！
- ◆心が落ち着く読書の時間、読書のよさを伝えよう！
- ◆みんなの歌声で心も体もすっきり！

児童会による
児童発信の取
組み

子ども（学校）と地域の互恵的

お互い心をつなぎ、安心して集える仲間
の中で、自らの心を高めていく

【仲間とともに、豊かな学校生活を

～生活科・総合的な学習の時間 等、
学級の「顔」としての中核活動～

ここにある地域の学校として立つ

- ◆「この地」の豊かな自然を生かした活動
飼育、栽培、ものづくり…
- ◆熱い心をもった地域の応援団と共に
学校運営協議会、地域の方々が集う学校に
- ◆願いの実現に向け、子どもの意識に沿
い、子どもと共に探究する教師

仲間と活動を共にする中で、一人一人が
つながり、居場所がある、安定した学校
生活を創る

重点2 「協同する学び」で、仲間とともに自ら学んでいこうと する子どもの育成 ～全教育活動の中での「協同する学び」の追究～

3つの対話の充実を通して

- ◆じっくりと対象に関わる「対象との対話」
- ◆多様な考えに出会うための「友との対話」
- ◆自分の考えを広げ深める「自己との対話」

＜3つの対話の充実に向けて＞

- ◆教材や対象の本質に迫る「体験的な教材研究」のあり方の検討
～それぞれの強みを生かし、同僚と共に深め、実感を踏まえた授業づくりへつなげる（授業
交換等による教科担任制の実施）～
- ◆子どもの意識と対象の本質の交差するところを探る授業の構想と展開
～子どもが夢中になって追究する学習課題の設定～
～お互いを「きき合い」、子どもの声で「つながる」授業の展開～

＜そのために、教師が楽しむ授業づくり＞

日常の授業改善…「学び合い」の理念の共有と日常に返る授業改善

自主公開学習検討会…見せるための会ではなく、私たちの授業研修の場となる一日に

職員研修…それぞれの得意分野から学ぶ研修・地域素材の開発をする研修